

大分市の商業施設「パークプレイス大分」にイノシシが現れ、買い物客にけがを負わせたことを受け、周辺の学校や団地で対策が強化されています。

①イノシシが住宅地に出るようになった理由は何だと思いますか。

遭遇したら…大声出さず立ち去つて

大分市の商業施設「パークプレイス大分」にイノシシが現れ、買い物客にけがを負わせたことを受け、周辺の学校や団地で対策が強化されています。

施設にイノシシが出没し、全教職員にイノシシに遭遇したのは7日午前。体長1㍍ほどの1頭が施設内を40㍍ほど走り回り、買い物客3人をけがを負わせ、そのまま逃げた。地元の松岡小学校（佐藤直人校長、938人）は、市獣友会のメンバーは、施設に隣接する団地の5

自治会では11日、注意を呼び掛けるチラシが配られた。市職員が各自治委員宅を訪問し、約60枚のチラシを渡して回覧するよう要請。公園通り4丁目自治委員の長谷川裕之さん（71）は、「数年前には自宅前の畑にイノシシが出たことがある。自然が近くにある団地の間には里山があり、そこが緩衝地帯」と話す。

市職員は、

「公園通り4丁目自治委員の長谷川裕之さんは、数年前には自宅前の畑にイノシシが出たことがある。自然が近くにある団地の間には里山があり、そこが緩衝地帯」と話す。

市職員は、

「公園通り4丁目自治委員の長谷川裕之さんは、数年前には自宅前の畑にイノシシが出たことがある。自然が近くにある団地の間には里山があり、そこが緩衝地帯」と話す。

「パークプレイス」周辺

イノシシ対策強化



注意促すチラシ 捕獲用わな設置



イノシシのわなを設置した大分市獣友会の安藤崇宣さん=11日午後、大分市松岡の大分スポーツ公園内

パークプレイスから北西に約500㍍離れた同市松岡の大分スポーツ公園内の雑木林にわなを設置した。周辺で30頭ほどの群れを目撃したものもあるという同会の安藤崇宣さん（73）は、「もともとイノシシがいる地域だが、人がたきんいる施設にまで侵入したのには驚いた」と話し、「今後わなを増やすことも検討している」。

(2013年9月12日朝刊21面)

②イノシシと遭遇したときは、どのような行動を取ったら良いでしょう。

③ほかに野生生物と人の暮らしとのトラブルの例を知っていますか。調べてみよう。